

米 国 U.S.A.

■ 広告業界も女性スポーツ選手を

各分野への女性の社会的進出が目覚ましい米国ですが、なぜか広告主は、女性スポーツ選手をあまり広告に使おうとしません。

先頃の電通報は、広告業界や娯楽産業へ女性選手を売り込むための専門のあっせん会社「ウイメンズ・インタナショナル・マネジメント」が昨年設立されたと報告しています。設立したのは、元ペンシルベニア州立大バスケットボール・チームの花形プレーヤーのシェリル・エリソンさんとパートナーのグレッグ・ヒル氏。実際、NCAA（全米大学体育協会）の新チャンピオンズのテネシー州立大チームのメンバーにも、なかなか広告業界からは呼びかけがかりませんでしたが、これに対して、エリソンさんは「バスケットボールばかりやってきた女性なんて……というのは偏見。彼女らは魅力にあふれ、自己主張もできる」と各方面に売り込みを開始。その結果、同社所属の多くの選手が、テレビやビデオ、映画出演を通じて娯楽産業に進出するようになったと言います。しかし広告関係となるとまだまだ壁が厚いのが現状。エリソンさんらは、女性スポーツ選手の映画業界への進出が、やがて広告業界へも影響を与えるだろうと期待しています。

ソ 連 U.S.S.R.

■ 陸上往年のスター・プレス姉妹の近況

1960年ローマ・1964年東京の2回の五輪で、女子砲丸投げ、円盤投げ、80メートル障害、五種競技に2人で計五個の金メダルを獲得したタマラ、イリーナ・プレス姉妹の近況をお伝えしましょう。

姉のタマラ（50）は現在、全ソ労働組合中央評議会文化部長として、勤労者のスポーツや活動に関する仕事をしています。住まいは、モスクワ大学近くの3LDKのアパート。趣味は料理・芝居観賞。文学の才能もあり、3年前に出版した「勝利の価値」や「陸上競技の魅力」は好評を博しました。

一方、妹のイリーナ（48）は現在、モスクワのベトロフスキー公園にあるスポーツ協会「デイナモ」所属の青少年スポーツ学校で、女子のハードル部門を担当しています。すでにその教え子の中から何人かの欧州チャンピオンが育っています。鉄道大学出身ながら現役を退いてからスポーツ理論を勉強し、「ハードル選手育成法」という論文は、博士候補の称号を取りました。自宅では、趣味の料理を作り、子供たちをコーチするかたわら、ジョギングやインターバル走などで、自身の健康管理にも気を配る毎日だそうです。

（APN）

中 国 China

■ 世界に向けてキックオフ

いま、中国の女子サッカーチームは、ファンの熱い視線と期待を一身に集めています。昨年12月に香港で行われた「第6回アジア女子サッカー選手権」では、日本と対戦し2対0で優勝を飾り、世界のトップに仲間入りする序幕となりました。

結成されてまだ日の浅いナショナルチームのメンバーは、全国の精鋭を集めた16人で、平均年齢は19・5歳、若さとスピードが売り物です。テクニックの進歩も目覚ましく、トラッピング、ドリブルの基本技術は言うにおよばず、空中に浮いているボールをけるボレーキックやヘディング・シュートの難しい技をもこなします。しかし、今回の優勝の要因はそのコンビネーション・プレーにあると言えるようです。

この大会で最優秀選手に選ばれたのは、快馬の異名を取る17歳の呉偉英選手。100メートルを13・5秒で走る攻撃力あるフォワードです。またハーフの牛麗傑選手は絶妙なヘディング・シュートを見せるなど、その他の選手も各々の特性をあますところなく発揮し、優勝を手に入れました。

次は世界一をと、彼女たちは今日もトレーニングに励んでいます。

（人民中国）